



横浜みどりアップ計画 地域緑のまちづくり事業

R E P O R T

◎地区名 **上菅田地区**

◎団体名 **上菅田地区まちづくり協議会 緑・環境分科会** ◎計画名 **次世代につなぐ緑あふれる地域づくり**



◎所在地：保土ヶ谷区上菅田町

◎取組期間 **3** 年

◎協定締結期間

平成**30**～令和**2**年度

横浜みどりアップ計画とは

緑の減少に歯止めをかけ、「緑豊かなまち横浜」を次世代に継承するため、「横浜みどり税」を一部財源として活用しながら、「横浜みどりアップ計画」を進めています。

詳細は...

地域緑のまちづくり事業とは

地域が主体となり、住宅地や商店街、オフィス街、工場地帯など様々な街で、地域にふさわしい緑を創出する計画をつくり、市民との協働により緑化を進めるものです。

詳細は...



地区の範囲図及び緑化実施場所

団体・地区の概要

「上菅田を住みやすい良いまちにしたい」と上菅田地区内の自治会が立ち上がり、2017年に上菅田地区まちづくり協議会をスタートしました。活動の3本柱である【住民とともに進める美しい街づくり】を進めるため、同協議会 緑・環境分科会が活動しています。

住宅街には街路樹がなく、街の緑が乏しい状態となっていました。

一方で、地域内には3箇所の特別緑地保全地区があり市街化調整区域には森、林が点在しています。

子供が多く利用するスクールゾーン沿道を緑化することで、地域住民と子供達の出会いの機会と交流の場を生み出し、子供達にも緑環境に関心を持ってもらえることを目指して、活動を進めました。

取組(計画)の概要

多くの人利用するバス停留所を緑と花で潤いのある環境としました。

子供が多く利用するスクールゾーン沿道に街路樹や花木・草花を植栽しました。

象徴的な緑化拠点として、道路沿いの小スペースを緑化し、人々が休息の場として利用できる憩いのスペースを作りました。

沿道の美観向上と、通行人との交流を通じて緑化活動の輪を広げるため、沿道住宅の道路面に統一された鉢植えを植栽してもらいました。



団体の活動写真



道路沿いの緑化(小公園)



シンボルである杏の開花



バス停フェンス・プランター緑化



道路沿いの緑化(緑化前)



道路沿いの緑化(緑化後)



広報誌の発行

主な取り組み実績 **助成金額合計: 13,106千円**

民有地緑化

バス停、法面、擁壁など道路沿いで誰もが緑を感じられる場所を中心に緑化

バス停周辺には、カルミアを植えたプランターの設置と、ヘデラをはわせたフェンス緑化を行いました。道路沿いの空きスペースを利用し芝生化、ソヨゴ・サツキを植えた場所は小公園、シダレ桜を植えた場所は三角公園と名付け、憩いの空間としました。道路沿いの法面や擁壁沿いに、杏やサツキ、ソヨゴを植えることで、気持ちよく歩くことができる沿道となりました。また、お揃いの鉢植えを使ったシャクナゲを、三年間で計110鉢住戸向けに配布。住民一人一人が参加して、街ぐるみで緑化を行いました。

活動支援

広報誌の発行(計3回)

一年間の緑化活動を、手作りの地図と写真を使ってわかりやすく周知。同時に、シャクナゲの鉢植え緑化の参加募集を呼びかけました。作成した広報誌は、上菅田地区連合自治体の各自治会世帯約3,500世帯に配布されました。最終回は、3年間の活動の振り返りと会員のメッセージが寄せられました。

<会員の思い(抜粋)>

- ・仕事の傍ら未経験の活動もありましたが、有意義な経験となりました。
- ・協力して慣れない植栽や除草を行いました。少しでも地域のお役にたてたかと思います。
- ・鉢を届けた時に感謝され、感激しました。



シャクナゲ鉢緑化①



シャクナゲ鉢緑化②



道路沿いの緑化(杏・サツキ)

3か年の取り組みを振り返って

小規模開発により宅地化が進められ、住宅地の緑化が個々に進められた結果、計画的な整備緑化や、象徴的で統一された緑地が見られず、町に潤いをもたらす緑が寂しく感じられていました。

これらの課題解決を目的として「地域緑のまちづくり事業」を3か年で取り組んできました。今後も住宅地の緑の街づくり活動を地域の課題として進め、活動に関心をもつ方々への啓発活動にも繋げていきます。また、地域の人々の持続的な協力も得られることを期待し、さらに次の世代に地域遺産として育ててゆくことを願って、この活動を充実させて地域で展開することを戦略として取り組む方針で臨んでいきます。

【問合せ】
横浜市環境創造局みどりアップ推進課
【TEL】045-671-3447
【FAX】045-224-6627
【Mail】ks-ryoka@city.yokohama.jp